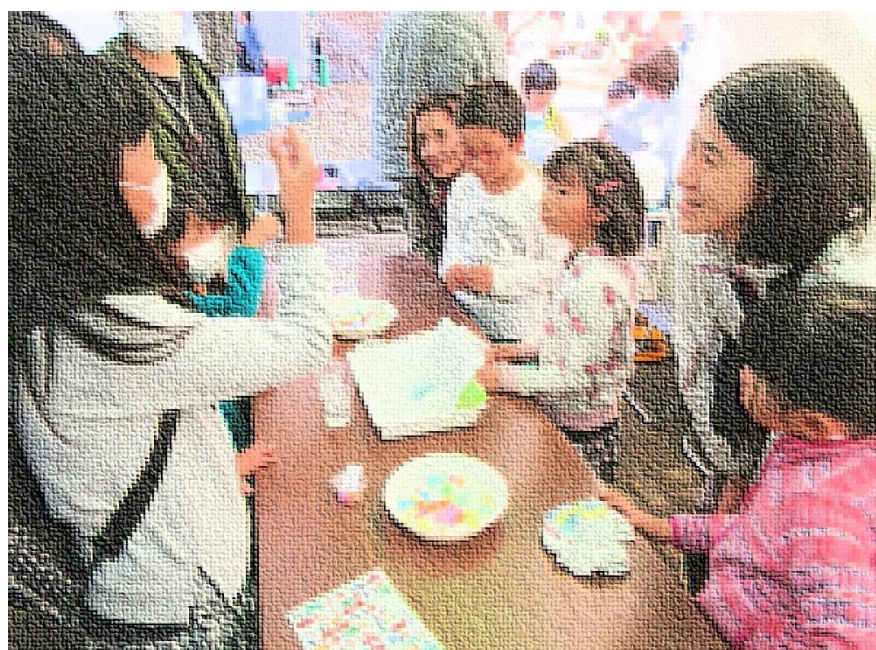


アイラブつくばまちづくりキャンペーン支援事業

科学ボランティアを やってみよう！

2016度 活動報告書



おもしろ！ふしぎ？実験隊
代表 久保 利加子

本団体は、科学のすそ野を広げることを目的にし、つくば市立児童館で親しみやすい実験教室を念頭に継続して行っている。参加者も年々増加し、高学年の児童はアシスタントとして活動したり、大人参加者の中には継続してボランティアとして活動される方も出てきた。

このような流れから、潜在的にいると思われる科学に興味を持つ方々に、一步踏み出して科学ボランティアとして活動していただき、一緒に一つの実験教室を作り上げることができないかと考えた。実現すれば、活動を通してその方々が、科学に対する興味関心を深められるだけでなく、科学ボランティアの醍醐味である『科学を伝える楽しさ』を十分に体感していただけたらと思ったからである。またこの活動が継続されれば、多くの科学ボランティアがたくさんの場で活動するようになり、将来的にはさらに、科学のすそ野を広げることができると考えた。

そこで、『科学ボランティアをやってみよう!』という企画を申請し、実施した。

企画概要

2016年11月12・13日、つくば市カピオで行われたサイエンスコラボ2016に『ぷよぷよをすくって科学マジックができる芳香剤を作ろう!』という科学体験ブースを出展した。

ブースでは、事前に募集した方々(以降コラボボランティア)に、実験の補助や説明などを、中心となって行ってもらう、科学ボランティアとして活動する場を提供した。同時にブースでは、サイエンスコラボに来た市民に、科学体験をしてもらう場も提供した。

コラボボランティア募集のための活動



コラボ
ボラン
ティア
59人
誕生

コラボ
ボランティアが
活動する場

市民が
科学体験
する場

サイエンス
コラボ2016での活動

〈事前準備：コラボボランティア募集のための活動〉

- ・本団体(おもしろ!ふしぎ?実験隊)のWebページやFBページ・つくば市民活動のひろばFBページ・児童館だより・チラシなどで、本企画を広く案内し、コラボボランティア募集を行った。
- ・つくば市立児童館で22回の実験教室を実施しながら、科学の楽しさを伝えるとともに、コラボボランティアの募集に努めた。
- ・つくば市立児童館職員の方々には、自主的にコラボボランティア募集の呼びかけを行ったりチラシを配ったりしていただいた。
- ・参加が決定したコラボボランティアとは、事前にメールなどで数回にわたり打合せを行った。

〈活動当日：サイエンスコラボ2016での活動〉

- ・コラボボランティアには、希望時間に来ていただき、事前実験・説明(安全確認を含む)を行い活動してもらった。活動時間は30分からでもOKという事にしてはいたが、ほぼ皆さん2時間以上、中には1日を通して活動したコラボボランティアもいた。また、当日の実験工作物を持ち帰ってもらうことはもちろん、別途用意した科学グッズをプレゼントした。
- ・科学体験の参加者には、コラボボランティアの解説・演示のもと、実験を行いながら家庭でも実施できる科学マジックグッズを作成し持ち帰ってもらった。

〈活動終了後〉

- ・活動の様子・実験方法などを本団体のWebサイトですべて公開し、SNSを通して広く科学ボランティアに利用していただけるようにした。

活動をふりかえって

科学ボランティアを募るという、初めての試みは、ふたを開けてみると当初のコラボボランティア目標参加人数の、2倍近くになりました。特に、児童館での呼びかけを通しての参加者が多かったです。

この理由は、これまでの本団体の児童館での活動が継続して行われていること、またその活動が楽しく、積極的に本団体の活動に参加したいという気持ちが、児童・保護者・児童館職員にあったのだと思われました（次ページからの感想参照方）。つくば市立児童館職員のコラボボランティア募集呼びかけに関するご協力は、大変大きなものでした。

また、児童館を通してだけでなく、SNSでの情報により参加してくださったコラボボランティアもあり、これまで実験ネタなどを広く公開してきたことも、コラボボランティア参加者の増加に寄与したと思われま

す。また、コラボボランティアの方々のアンケートからは、自身の科学へのハードルを低くできたことや、科学ボランティアの醍醐味である『科学を伝えることの楽しさ』を実感できたとの感想を多数頂きました（次ページからの感想参照方）。また、自分の子供の成長を見ることが出来た・今後の本団体の活動を期待しているなど、想像以上の声もありました。

こうした感想を頂けた理由は、コラボボランティアの応募があった時点から、メールなどでやり取りを行い事前の不安を解消しようと努めたこと、取り組みやすさをアピールしたことなどがあると思います。また、コラボボランティアが行った実験内容も、実験の流れの中に『楽しさ・ふしぎさ・マジック的な要素・かわいらしさ・疑問を自分で解決できる達成感』など盛り込むことができ、科学ボランティア初心者にとっては、取り組みやすい内容を提供でき、『科学を伝える楽しさ』を十分に引き出せる流れになっていたことがあると思います。

また、こういったことによるコラボボランティアの生き生きとした活動の様子が、出展ブース全体に感じられたことで、サイエンスコラボ出展ブースにおける科学体験参加者数が、当初の目標大幅増の3.5倍となったのではと思われま

す。今回の企画では、少しのきっかけ作りをすることにより、科学ボランティアの楽しさを多くの方々に体感していただ

表1: 活動参加者

		実際の人数	申請時 目標人数
サイエンスコラボ2016			
	コラボボランティア	59人	30人
	科学体験ブース 参加者	350人	100人
つくば市立児童館22活動 実験教室参加者		1285人	1100人

※申請時より補助金が減額されたので、予算を修正し、本企画を始めた。ただ、サイエンスコラボでの、コラボボランティア・科学体験ブース参加者ともに、見込みを大幅に増加したので、その経費は、自費で補うこととなった。

最後に

本活動において、共に事業を進めていただいた担当部署であるつくば市科学技術総合調整室の方々、児童館での活動にご協力いただいたつくば市児童館職員の方々、サイエンスコラボ出展においてご尽力いただいた、つくば市環境課の方々に、末筆ではありますが、感謝申し上げます。

感想：サイエンスコラボ；コラボボランティアから アンケート方式で感想を求めた

【チョコボラをやって思ったことをお知らせください】

★楽しかったのはどんなとき・ことでしたか？自由にお書きください

- お客さんが感心してくれると楽しいですね。
- 客が驚いてくれたこと。
- 子供たちが目をキラキラさせてこちらから質問したことに対して答えを考えているとき
- お客さんに説明しているとき
- 人に教えること
- 子供達が一生懸命に説明している姿を見ることができました。また、説明を受ける子供達も真剣に話を聞き、驚いたり笑ったりしている姿を微笑ましく見ることができました。
- 私自身も、他のお母様や児童館の先生方と子供の成長についてお話をすることができ、楽しい時間を過ごすことができました。
- 机上ではなく、現場でお客さんを相手に説明をすること。
- 実験を教えながら自分でもよくわかった。
- 売り子が楽しかった（小学1年）
- 来てくださったお客様たちが一生懸命質問に対する答えを考えて、あたると歓声をあげたり、納得した様子で楽しんでいたこと。

★嬉しかったことはどんなとき・ことでしたか？自由にお書きください

- 小一の息子もしっかり説明していました。
- 息子が積極的にボランティア活動に取り組んだこと。
- 実験をやった子が「楽しかった！」と最後に言ってくれたことが嬉しかったです。また、自分の子供がチョコボラとして参加したのですが、実験の説明やお客さんを楽しませることが上手にできていたことも親としては嬉しかったです。
- 自身の子供が積極的にボランティアに取り組む様子に成長を感じることができました。
- 高分子吸水を自宅に持ち帰ったこと。兄弟でお風呂場で遊んでいます。
- 成長できた。
- 高分子吸収体をもらえたこと（小学4年）
- 子供達が目をきらきらさせて実験をしていたこと。

★むづかしかったことは、どんなとき・ことでしたか？自由にお書きください

- 飛ばしたところに気付かせるのが難しかったです。
- 反応の薄い客への説明。
- なかったです。最初から最後まで分かりやすく楽しいボランティアでした。
- 解説をするのが難しかった
- 皆に説明すること
- 特になかったそうです。
- 実験の説明（小学4年）

★困ったことがあったら、自由にお書きください

- 袋が足りなくなり、探しました。
- 困ったこともありませんでした。短い間のボランティアでしたが、参加させて頂き、本当にありがとうございました。久保さんのおかげで貴重な経験ができたことを本当に感謝しています。
- 特になかったそうです。

★こうして欲しかったなと思うことがあったら、自由にお書きください

- 説明してくれた通りにやっていて、とくに問題なくできました。
- ありません。ボランティアがしやすいように様々な配慮を頂いたおかげで本当に楽しくボランティアができました。お土産まで頂いて感謝感激です。
- 説明も分かりやすかったですし、楽しめました。

★最後に、本活動のご感想を、ご自由にお書きください。

- 自分の子供がこういうところでしっかり説明ができるということがわかったのは嬉しかったです。また、お客さんの子供たちが感心したり、頭をひねったりしているのを見るのが良かったです。
- 客が多く子どもだけでは回らないと思い、見守りのつもりが、説明までやってしまいました。子どもと接するのは好きなので、楽しく実験することができました。
- 呼び込みを子供と一緒にさせていただきました。サイエンスキッズとの繋がりに大変ビックリしました。大学生の時スタッフをしていたのが懐かしいです。いつもありがとうございます。
- 人に説明することをとうして、自身がより理解できて良かった
- 子どもに使命と責任を持つ機会を与えてもらい、子ども自身も満足感を味わったと思う。とても良い経験ができました。
- たいへん楽しく過ごさせていただきました。堅苦しさがなく、ちょこっと、というところが、面白そう、やってみようかな、私にも出来るかな、と背中を押していると思います。その分、久保さんのご苦労があるとは思いますが。
- 私自身も、科学＝難しいの拒否反応をかなり少なくすることができました。ありがとうございました。
- 児童館まつりの翌日にもかかわらず、職員3名、親子7組のボランティアがチョボラに参加しました。すらすら実験を詳しく説明している児童の様子から、日頃の成果が出ているのだと感じました。
- いつもは説明を受ける側にいる子ども達ですが、反対の立場を経験する事で伝える事の難しさを感じた様です。いい経験ができたと思います。私から見た今回のボランティアの内容は、子ども達への大きな負担にはならず、その上おままごと程度では無く、適度な内容だったと思います。このような体験ができる機会は少ないので、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- 実験の工夫がされていて短時間でも子供達をワクワクさせられるのが本当に素晴らしいなと思いました。これからも楽しみにしています。
- ありがとうございました。昨日朝、よく言って（笑）シャイな娘は、人に説明をしたり教えたりがこなせるか、不安を感じていました。午前時間を短縮し11時くらいまでとお話したのもそんな心配もあったのでした。しかし、活動していくうちにスイッチが入ったらしく、今まで苦手としていたことが楽しくなっていき、時間を延長して活動させていただきました。自宅に帰ってからも、今朝も、「ちょぼら楽しかった〜」「（学校の）自学（自主学習）ノートに日記書く！」と何度も言い、余韻に浸っていました。昨夜は、お土産にいただいた道具も一通り実験し、興奮冷めやらぬといった状態でした。今回の経験は、娘にとってかけがえのないものとなったようです。私から見ても目を見張る成長の機会となり、うれしくもあり驚きもありました。フットワーク軽く、気遣いも行き届きながら活動されていた久保さんのお姿にも驚きました。そのご活躍が子供たちの気持ちにつながるんだなぁと感じました。お体に気を付けてますますご活躍ください。準備も片付けも何のお手伝いもせず、大変失礼いたしました。また機会がありましたら、ぜひ参加させていただければと思います。
- 我が家は一家で楽しませていただきました。息子は楽しかった、ちゃんと説明できた、と自信を持てた様子でした。久保先生のご配慮で楽しい体験をすることができ感謝しております。今後ともお声かけいただければ幸いに存じます。
- お疲れ様でした。短い時間しかお手伝いできなくて、申し訳ありませんでした。あまりお力になれなかったのに、素敵なお土産をたくさん頂いてしまって…恐縮です。クリスマスに向けて心が躍るお土産でした。ありがとうございました。ボランティアの子ども達が、最初は緊張していて、うまく伝えられず（私もですが…）話すことや実験の順序などが止まってしまって、お手伝いをしてあげましたが、回数を重ねていくうちに上手に説明してあげることが出来てきて、感心しました。子ども達同士で、助け合いながら実験の説明をしている姿にも感動しました。お客さんもたくさん来てくれて賑わっていたので、『すごい人気だな〜』と、ただただ感心するばかりでした。私自身勉強にもなり、楽しんでしまいました。またこのような機会がありましたら、ぜひ参加したいと思います。（ご迷惑でなければ…）

感想：つくば市立児童館；開催児童館職員から

自由形式で感想を求めた

吾妻西児童

1 児童の様子について

実験隊が月刊行事のように定着し、実施日を楽しみに待っています。実験隊の日には、図工室に長蛇の列ができ1回に入りきれない児童が集まります。実験隊を終え図工室から出てくる児童の顔は、満足げで『楽しかった～』と口々に……。充実した時間を過ごしています。実験後の『お持ち帰りの物』で遊ぶのも魅力のようです。

2 保護者の反応

9月に実施した実験隊は、準備の都合上人数制限をしましたが、申込みに来る保護者からは、「子供がいつも楽しみにしています。」というお声をいただいています。また、定員に達してしまい申込みできない保護者は、とても残念な様子でした。保護者の方々からも高く評価されていることを実感します。

3 全体的な感想

身近な疑問を科学的に体験しながら解き明かす手法は、児童の深く印象付けられ忘れることのない、頭（知識）と心（楽しかった感動）双方にインパクトを与える企画であると評価しています。

今年、理数科目の世界順位が上がったというニュースがありましたが、児童の探究心をくすぐり引き出す体験型の手法を多く取り入れられた結果であり、その一翼を担う企画であると考えます。

そしてとても重要なのは、児童が自発的に取り組んでいることです。遊びの延長に学びがある。遊び＝学び。児童が成長するために自らが遊びをとおり『経験値を揚げる過程の重要性』を可視化できる素晴らしい企画と言えます。

このような素晴らしい企画を今後も継続していただきたいと思うとともに、お力になれることがありましたら何なりと申し出ください。

桜南児童館

おもしろ！ふしぎ？実験隊は、子ども達の心を引き付けるわかりやすさと子ども達の発見や発言を大切にしてくださっているので、とても楽しく科学等に興味を持つことができていると感じています。

身近なものでの工作・見える形での体験には、子どもも大人もワクワクモード全開になっております。

実験隊は、実験に必要な教材を殆ど準備してきてくださるので、受ける側の負担が無いことに大きな魅力を感じております。また、いただいた資料・実験グッズを大事に持ち帰り、子ども達が先生となり家庭の中で、保護者の方も体験しているようでした。

現状として、学校の授業時間数が多くなって児童館への帰館時間が遅くなり、実験隊をしていただく時間も短時間になっておりますが、短時間でも魅力あるおもしろ！ふしぎ？をしていただき、子ども達も私共も感謝しております。

今後も是非「おもしろ！ふしぎ？実験隊」の活動を続けて頂ければと思っています。

沢山のご指導いただいたことに感謝するとともに、今後もよろしく願いいたします。

大変感謝しております、ありがとうございます。

二の宮児童館

実験隊は、毎年、年数を重ねることに、実験の内容がレベルアップされています。二の宮児童館では、年6回特別に実施して頂いておりますが、そのたびごとに、児童も職員も、わくわくしながら実験を楽しんでいます。

毎回、実験隊に参加し、家庭の中で自慢げに実験の話をしたり、久保先生の実験隊へ沢山参加していた児童が、小学校高学年の科学クラブや中学校の科学部に入って活動していたりする姿から、科学の芽が、実験を通しながら確実に育っていることを実感します。環境的に恵まれていることは、幸せなことですね。

《保護者の姿から》

・二の宮児童館では、年6回の実験隊を児童館たよりにて掲載していますが、今年度は、配布した翌日には、70名の定員が一杯になり、キャンセル待ちをお願いしています。

・実験で持ち帰った教材を使って、家で何度も繰り返し遊んでいる様子を見て、保護者自身も関心をもち、期待してくれる事業になりました。

《児童の姿から》

・保護者に医師や薬剤師、産総研に勤めている方が多いこともあり、実験をしていく中で、久保先生からの質問に素早く答えたり、自分で考えて進めたり、集中して実験に取り組んだりする姿が見られます。実験の中の変化に、歓喜の声をあげたり、感動する児童が多くいます。また、それらの児童の成長や好奇心の持ち方が、久保先生自身も感じて頂けるようで、児童も職員も先生も、皆がやりがいと充実感で満たされます。

・久保先生が科学的には難しい内容でも、実験を理解しやすく考えて教材を一人一人に準備していただけるので、児童はとても親しみをもちて参加しています。

・カピオで実施されたサイエンスコラボには、児童館まつりの翌日にもかかわらず、職員3名、親子7組のボランティアがチョボラに参加しました。すらすら実験を詳しく説明している児童の様子から、日頃の成果が出ているのだと感じました。

・大きな企画よりも、久保先生の実験隊のように、日頃の小さな積み重ねが、児童の成長に大きな効果を発揮します。地道な活動を継続していく事業になることを切に願いたいと思います。

東児童館

おもしろ！ふしぎ？実験隊に参加して、

手作りの工作物をのぞきながら事務室へやってきた1年生の女の子。嬉しそうにこちらの方に向けて

「これ作ったんだ。すごくきれいだよ。」

と教えてくれました。

子供たちは、久保先生がご用意して下さった材料を受け取り、指導の先生方に見守られながら、一心に取り組めます。工作は毎回、だれもが最後まで作り上げています。

おもしろ！ふしぎ？実験隊では、身近な材料を使って、科学のおもしろさや原理を学び、その結果を体験できる工作を行っていただいています。

東児童館では、自由参加で毎月実施していますが、館内放送でお知らせをすると、子供たちは我先にと走って集合し、毎回満員になっています。そして、希望者が多いため、二回ずつ実施していただいています。

「ただいま 実験隊はまだ始まってないよね」

実験隊のある日は、学校から走って帰ってくる子がいます。そして、入り口に並んで待っています。

子供たちは毎回、おもしろ！ふしぎ？実験隊を楽しみにしていること、そして、毎回その期待どおりの実験をしていただいていることを実感しています。

子供たちのために、今後も引き続きご指導を頂ければ幸いです。

九重児童館

(ふしぎな光の世界：偏光板)

・内容的に身近なものがテーマになっているので、一見難しいかなと思うことも子どもにとっては、とてもわかりやすく、興味をそそる内容だと思っています。

・準備はいつも、先生が用意して下さるので、私たちは楽しています。

・今日の実験の事を嬉しそうに親に報告しているのを見ると、とても良い内容だったのだと思います。

(プ・ポ・プ・ポ！プラスチック！)

・子ども達、最初は騒がしくて申し訳ないなと思ってましたが、すぐに内容にひきこまれて興味津々で聞いて、とても子どもの関心をひくものと考えてくれていて、良かったと思います。

・プラ板も実際にいろんな絵を描いて、目の前で小さくなって可愛いものができ、子ども達、とても喜んでいました。

・久保先生いつも下準備がしっかりしており、わかりやすい説明でありがとうございます。

・低学年の子ども達は、静かに先生のお話を聞いていましたが、3・4年生は少し騒がしかったと思います。でも、実験をしてキレイな色ができると、ビックリしてうれしそうにしていました。

・当日は、先生が準備して下さったので、特別に用意することもなく楽しむことができました。

・真剣に話を聞き、トースターでプラスチックが変化していく様子に感動していました。

・買った材料でなくても(プラ板)楽しめてよかったです。

・実験はわかりやすく、おもしろかったです。ただ、子ども達の態度が悪かったりして申し訳ない気持ちです。

・テンポよく実験が進められるので、いつの間にか科学の変化のおもしろさに子ども達がかぎづけになり、楽しく取り組んでいました。プラ板は、普段やっている物と全く違うもので、3種類の身近な素材から作りだしたものには、大人も驚かされました。

・個人の材料があり、自分で変化を間近で楽しみながら作り上げていく満足感。また、なにかしらできあがったものをお土産に持ち帰れるので、帰りがけ迎えに来た方が今日、おもしろ実験隊の行事があったことを忘れていても児童が持っているものを見て、「それなあに」と尋ね「今日おもしろ実験隊で作ったの」との展開に「今日行った内容が書かれたものを持たせましたのでご家庭で見ながら、お子さんの話を聞いてみてください」と伝えていきました。このように、親子のコミュニケーションを広げる役割も担っているように感じました。

(来年度の活動への希望)

・次年度も身近にあるもので、子ども達が楽しく実験できるような事をお願いします。

・今年度同様、2回はおこなってほしいです。

・来年も身近なものをテーマに子どもが食いつく内容の実験をお願いします。

・スーパーボール作りとかスライムとかそういうものも教えてもらえたら楽しいかなと思います。

・今後も楽しい講座をお願いします。

・ミニミニアクアリウムは、是非やってみたいです。

九重児童館では、2回参加させていただき、大変お世話になりました。

それぞれの実験を気軽に楽しみ、取り組んでいるうちに久保先生の科学マジックに、ひきこまれていく内容は、毎年驚かされ一緒に楽しませていただいています。ここまでの準備や内容は児童館ではやりきれないのでとても有り難く、子ども達の可能性を広げる良い経験となっています。本当にありがとうございました。

来年度も是非お願いいたします。

手代木南児童館報告

本館の実施はH28年7月26日（火）夏休みに入ったので10時から11時45分。会場となる図書室で準備を開始すると、子ども達は「何やるの」、「これどうするの」等興味深々でした。

参加人数は60名。今日は、『ふしぎなぶたさん』。久保さんの説明が始まるとみんな静かになって話を聞いたり、水性ペンでコーヒーフィルターに絵を描く作業など学年の差や個人差は多少感じられたが、指示に真剣にしたがっていた。また、色が変わる不思議を「どうして?」と不思議がったり面白がっていた。

本館としましては、おもしろ!ふしぎ?実験隊に対し、いつも限られた時間（1時間から1時間30分、本日のような休校日であっても2時間弱）で、児童にわかり易いものを提供して頂き、また、学校では出来ない経験をさせていただき感謝しております。私たち職員としても、忘れかけていることを気付かせてもらっているようです。保護者の方の反応は、子どもの話を聞いたり、作った物を見て、感心している様子です。

準備や今年度の活動などで困ったこと等はありません。次年度に関しては、これまで同様に久保さんと相談しながら、本館で実施していないテーマでやっていただくようになると思います。今年度は、12月13日にもお世話になります。よろしくお願いいたします。

吉沼児童館

○指導員さんたちからの感想

いつも楽しい実験を見せてくれて、感謝しています。どの実験も児童たちの興味関心を高めるようなものばかりで、アイデアが豊富だなあと感心しています。

私個人としては、ピンホールカメラを作ろうが印象に残っています。紙コップ、園芸用のプラスチックのカップという身近なものを活用しての、風景がさかさまに見える実験でしたが、児童たちは歓声をあげて取り組んでいました。おみやげで家に持って帰れるのがまたいいですね。

これからもよろしくお願いいたします。（指導員 C I）

楽しくためになる実験をいつもありがとうございます。たくさんの準備をしていただき、児童だけでなく、私たち指導員の楽しみにしています。

私は夏休みに活動した「高分子給水体」が印象的でした。普段使っているものでも「どうしてかな?」という視点で見ることも大切なんだと感じさせられました。

また、楽しい実験を期待しています。（指導員 N S）

「鏡を使った魔鏡で遊ぼう」「フリクションインキの謎」「プラスチックのふしぎ」「LEDの謎」などなど、不思議でおもしろい実験をありがとうございます。どれも子どもたちは目をキラキラ輝かせて取り組んでいました。準備や用意が大変だなといつも感じています。次はどんなものなのかなとワクワクして待っています。（指導員 K O）

竹園西児童館

実験隊は、毎回人気がありあつという間に定員でいっぱいになってしまいます。

当日は、部屋が子供達でいっぱいです。

参加出来なかった子も「楽しそう」「やりたかった」とドアから中を覗いたりしている子も。

実際に、実験をしながら説明してくれるので、子供達も理解しやすかったと思います。

低学年から高学年の子供達が学年に関わらず一緒になって参加しているので、高学年の子が1年生などに教えている光景も見られます。

大人も楽しめる内容なので、「おお〜」「すごいね〜」と子供達と一緒に聞いています。

終わってからも、作ったものを嬉しそうに見せに来てくれる子供達。

配付される資料もその日にやった内容が詳しく書かれているので、帰ってからお家の人と一緒に実験が出来るので家族でも楽しんでいるようです。

今後も子供達に楽しい実験を御教示して下さい。

並木児童館

★子ども達の様子

- ・ 普段、経験できないことなので、皆、生き生きと参加していた。
- ・ 理科のふしぎに興味を持ち、実験の様子を真剣に見ている児童もいた。

★準備や当日の対応で、児童館が行ったこと

- ・ 事前に参加希望の募集をかけ、大まかな参加人数の把握。
- ・ 暗幕、机並べ等の会場作り。
- ・ お湯、氷等の用意。
- ・ 各テーブルに、ある程度の人数を座らせること。

★今年度の活動で困ったこと

- ・ 特に無し。

★来年度の活動への希望

- ・ 定期的な開催、または、回数を増やしていただくとありがたい。
- ・ 長期休み中で時間に余裕があるときは工作等に時間をかけてあげることができる。

★その他

- ・ このような機会を設けていただいているおかげで、科学に興味を持ち始めた児童が増えてきている。

荃崎児童センター

「8月に行われたフリクションインキを科学する」荃崎児童センターでは、33名の児童が参加しました。児童達も興味津々で、クボ先生とフシギなグッズを作っている様子が、楽しそうでした。また、来年の2月にも予定しております。子ども達も楽しみにしています。今後よろしく申し上げます。